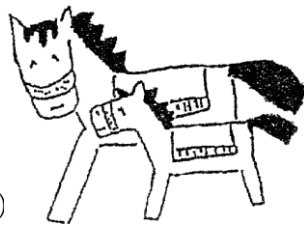


♪  
お馬のかあさん  
やさしいかあさん  
子馬をみながら  
ぽっくりぽっくり  
あるく

# おうまのおやこ

子育ても  
あせらず待ちましょ  
ポックリ、ポックリと



22年 1月 NO. 182

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2  
高松保育園内地域子育て支援センター  
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857  
<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～		1月の主な活動	～お気軽にどうぞ～
1月 9日	土	体験保育 10:00～12:00	同じ年齢のクラスに入って、一緒に遊みましょう。入園前見学もできます。
1月 16日	土	実用筆書き講座 14:00～16:00	筆を持つことに慣れておくと生活の中で役に立ちます。
1月 18日	月	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	昔から伝わるお正月遊びを、子どもたちにも知ってもらいましょう。どなたでもどうぞ。
1月 23日	土	木工教室 14:00～16:00	木製品の修理などできますのでお持ちください。
1月 29日	金	おはなしの会 10:00～11:30	とら年の新春のおはなしや紙芝居パネルシアターがあります。
1月 29日	金	健康・育児相談 11:00～12:00	小児科園医師にゆっくり相談できます。(予約要)
1月 30日	土	体験保育 10:00～12:00	出産予定の方の子育て体験にもおいで下さい。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎火曜日 園庭開放(13時～16時)</li> <li>・上記の活動日以外は13時～18時まで地域開放しますので、親子でご来園下さい。(但し、月・日曜・祭日は休み)</li> </ul>		<b>育児相談(月～土) 9:00～18:00</b> しつけや子育てについての悩み、保育園生活、入園・見学についての相談もどうぞ。	



硝子のそとは、  
やみよ  
しずかな暗夜、  
あられ  
ときどき霰が、  
パラ、パラパラリよ。

暈のうえにや、  
かるたが散って、  
ちいちゃいお頭、  
つむ  
ひい、ふう、みいつよ。

お炬燵の上に、  
みかん  
お蜜柑積んで、  
ばあさま  
お祖母様、眼鏡  
キラ、キラ、キラリよ。

かるた



今月も、中田洋二郎先生（立正大学心理学部）から保護者、教師、保育士など子どもに関わる現場の方々へ、今までの相談や体験などを通してお伝えしたいことを本紙の12月・1月の2回にわたってご紹介します。



## 中田先生からのメッセージ（そのⅡ）



### ☆障がい告知の後、家族に必要なのは具体的な支援の方法と情報

以前、ダウン症のお子さんと自閉症のお子さんのご家族に面接調査をしたことがありましたが、その時の障がい告知の状況です。

出産1ヶ月後に大学病院を受診してダウン症と診断された。予備知識は少しあったものの、説明は分かりにくく、遅れについて尋ねると「大人にはなりませんよ」とそっけなく返され、何かしてやれることはと問うと「入院はできるけれど、どうやっても同じですよ」と言われたと、母親は述べています。

告知をされた時は教授回診と重なっていて、告知をした医師が若い医師に我が子のダウン症としての特徴を親の前で説明していた。もう二度と行きたくないと思った。

このようなお話でした。その後母親はこの時のことが原因となって、フラッシュバックや健忘や不眠などPTSD様の症状（心的外傷のような症状）とうつ状態が続きました。

その母親は、告知された時は頭が真っ白になって質問できなかつたけれど、例えば、ミルクをうまく飲ませない子にどう飲ませたらいいのか、着替えや入浴の際に身体がぐにゃぐにゃして定まらない子をどうやって支えたらいいのか・・・具体的な養育のしかたが分からず、不安と戸惑いでいっぱい子育ての具体的なアドバイスが欲しかったのだとおっしゃいました。看護師や保健師なりが育て方についてのコーチとなって、具体的に教えてあげることが必要だったのでしょう。あるいは、育児のアドバイスが欲しい時の問い合わせ先とか、セカンドオピニオンが得られる機関とか、そういう家族にとって安心できる情報も与えるべきでしょう。障がい告知の時にそのような具体的な援助があると、その後の抑うつ状態から早く回復できるのではないのでしょうか。

### ☆障がいを受け入れるまでの過程は？

先ほどお話した面接調査によると、ダウン症の子の親は告知されたときに100%障が

いを認めたと答えているのですが、自閉症の子の親の場合は告知された時に認めたのは27%で、半数以上が告知後でその時期もさまざまでした。このことから障がいの種別や程度によって、親が障がいを受け入れていく過程にはかなりの違いがあることがわかります。

自閉症や「軽度」発達障がいなどは、「見えない障がい」といわれます。次に紹介するケースは、自閉症の男児をもつ母親が障がいをどう認識していったかというものです。

生後8ヶ月頃に、視線が合わないことから異常を感じた。1歳の頃、保健所に相談に行ったがスキミングが大事と言われ、こちらの質問に答えるだけの専門的な知識がなく何の役にも立たなかった。4歳の時に言語治療室の紹介で子どもの神経科専門のクリニックを紹介された。CTや脳波検査には異常なかったが、医師から自閉傾向児と言われた。いろいろ尋ね歩いた末の診断だったので告知された時は、やっぱりという感じでさめていた。自分のせいではないことが分かり気持ちが軽くなった。障がいを認識したのは、小学校5～6年の頃、地域での生きにくさ、受け皿のなさから、障がい児としての生き方を選ぶべきだと強く思ってからでした。

この母親は子どもの就学前に療育手帳をとっています。私たちの感覚からすると手帳をとるというのは診断を受け入れたということで、その時点で母親は障がいを認めたはずなのです。しかし、母親は中学に上がる頃になって初めて子どもの障がいを受け入れたと言っています。障がい受容という言葉を私たちはよく使いますが、これは非常に個人的・主観的な問題である可能性が高いのです。



### ☆障がいと個性の間で揺れる親の本音

LD、ADHD、高機能広汎性発達障がいなど知的障がいを伴っていない「軽度」発達障がいといわれる場合は、親の障がいの認識は、これまでお話してきたものとはかなり違って見えるように思えます。

「軽度」発達障がいは、障がいと個性がコインの裏表のような関係にあるため、親としては子どもの障がいを認めにくくなります。けれども一方で、障がいだと認めなくてはならない対社会的な状況に保護者は置かれます。

なぜなら、子どもが起こす問題行動はこれまで親の躰が原因とされてきたためです。その誤解をとくためには、我が子を「障がい児」としなければならないのです。また、親が我が子の障がいを世間に訴えることで、早い時期から周囲が子どもの障がい（ハンディキャップ）を理解し、問題行動をやみくもに叱責されたり罰を与えられることも少なくなります。そう

すれば子どもの自己評価の低下を少しでも防ぐことができます。さらに、軽度であってもそれが障がいであることを世間に訴えれば、障がい福祉の対象となり、あらたな公的援助体制が確立される可能性も出てきます。これらの理由があるために、親は世間に対してわが子の障がいを開示し、支援を求めなければならない状況に立たされています。

親が我が子をあえて「障がい児」としなければならない、これは「軽度」発達障がいもつアンビバレンス（相反する感情の同時存在）といえるでしょう。おそらく常に、「障がい個性か」という問いは親の心の中にはあるのではないのでしょうか。「軽度」発達障がいの場合、親はその狭間で揺れ動いているのが現実です。ある母親がこんなことを話してくれました。

世間的にはうちの子が障がいだと思わなければいけないのですが、本音を言えば、個性としか思えないのですよ。薬を飲み始めたら子どもの状態は良くなってきたけれど、親としては複雑な心境です。それまでは学校に行くと、壁に貼ってある絵の中から自分の子どもの絵が目にとび込んできました。とてもエネルギーにあふれた力強い個性的な絵でした。ところが、薬を服用して落ち着くようになってからは、子どもの絵がどこにあるのか分からない、他の子どもの絵と変わらない個性のない絵になってしまったのです。私は子どもに薬を飲ませる時、自分が子どもの個性を殺してしまっていると感じるのです。

また、ある母親は「社会的にみて障がいとなるのは仕方ないが、私の中では個性の強い少数派」と我が子のことを表現しました。おそらく多くの保護者がこの2人の母親と同じように感じているのではないのでしょうか。「軽度」発達障がいにおいては、保護者や対社会的に表面は障がいと認めていても、ひとりの親としてはそれを個性と感じているのでしょう。

(神奈川LD協会 VOL.56 2009秋号より抜粋)



## 中田洋二郎先生 プロフィール

早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了。臨床心理士。専門は、発達臨床心理学。東京都民生局心身障害福祉部心理判定員、国立精神・神経センター精神保健研究所室長、福島大学大学院教育学研究科教授を経て、現在に至る。著書として、「発達障害と家族支援—家族にとっての障害とはなにか」（学習研究社）、「子どもの障害をどう受容するか—家族支援と援助者の役割」（大月書店）など。